

ケハギ

Lespedeza thunbergii (DC.) Nakai subsp. *patens* (Nakai) H. Ohashi
マメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地が一部の地域に限られている。

分 布

山形県、福島県、北陸地方、長野県で確認されており、県内では永平寺町と坂井市の山地に分布する。

種の特徴

庭等に植栽されるミヤギノハギの野生品で、枝に軟毛が密生する。

生育を脅かす要因

山地の開発、園芸用の採取。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
										○	○						

タンキリマメ

Rhynchosia volubilis Lour.
マメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が嶺南の一部地域に限られる。

分 布

本州（千葉県以西）～琉球に分布。県内では小浜市とおおい町で確認されている。

種の特徴

海岸や低山地の草原や森林の林縁等で見られるつる性の多年草。莖には下向きの短い軟毛があり、葉には両面とも黄褐色の腺点と短い軟毛が密に生える。果実は紅色に熟し、黒い種子が2個入る。

生育を脅かす要因

産地局限。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

タカネザクラ

Cerasus nipponica (Matsum.) Ohle ex H. Ohba var. *nipponica*
バラ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地、個体数とも少ない。1山域にのみ確認されている。

分 布

北海道～本州（中部地方以北）に分布。県内では奥越地方に分布する。

種の特徴

花期は遅く、5月初旬ごろ。花の色は薄紅色から白色。花の大きさは径2～3cm。樹高0.5～5m。葉は互生で幅の広い楕円形。葉の先は尾のように伸びている。縁は重鋸歯。葉は秋には紅葉し、落葉する。

生育を脅かす要因

産地局限、温暖化の進行が生育を脅かす。

参考文献

奥田重俊編（1997）、福井県植物研究会（1999）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	